

## プログラム

---

会長講演 ◆座長：小濱 啓次

「救急現場 二次病院 ドクターヘリ 基地病院のより連携を

より連携を活かす為の取り組み」

大会長：林 秀樹（医療法人 芳越会 理事長）

特別講演 1 ◆座長：嶽崎 俊郎（鹿児島大学大学院 国際島嶼医療学講座 教授）

「へき地離島の救急医療への思い」

講師：高山 隼人先生（独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター救命救急センター長）

特別講演 2 ◆座長：崎原 永作（公益社団法人 地域医療振興協会 沖縄地域医療支援センター長）

「東日本大震災を振り返って ～宮城県女川町での取り組み～」

講師：齋藤 充先生（公益社団法人地域医療振興協会 女川町地域医療センター）

シンポジウム ◆座長：三村 誠二（徳島県立中央病院救命救急センター部長）

◆座長：鎌村 好孝

（徳島県危機管理部、保健福祉部健康増進課、徳島県立中央病院地域医療科）

「へき地離島救急医療の充実に向けて～関西広域連合におけるドクターヘリ運用」

シンポジスト

島 幸宏先生（和歌山県立医科大学高度救命救急センター）

永井仁美先生（大阪府保健医療室医療対策課長）

春木尚登先生（関西広域連合広域医療局 医療戦略課長）

三村誠二先生（徳島県立中央病院救命救急センター部長）

## 一般口演 I

---

◆座長：上山 裕二（医療法人倚山会 田岡病院 救急科）

（へり）

I-1 鹿児島県十島村でのへり搬送 44 例の検討

石橋 和久（鹿児島赤十字病院 内科）

I-2 徳島県ドクターヘリと三好地域の今後の展望

犬伏 康博（徳島県立三好病院）

I-3 ドクターヘリを用いた地域病院救急初療室へのドクターデリバリーについて

大村 健史（徳島県立中央病院 外科・救急科）

I-4 緊急性の高い心疾患患者を短時間で搬送できたドクターヘリ症例

梶谷 勇斗（美馬市消防本部）

## プログラム

---

◆座長：浅井 康文（雄心会 函館新都市病院）

（ヘリ・災害医療）

- I-5 ドクターヘリにおける現場での多数傷病者トリアージの経験  
大久保 祐希（徳島県立中央病院 臨床初期研修医）
- I-6 離島医療へのティルトローター機 AW609 の運用  
三戸 恵一郎 1)、北野達也 2) 1) 東亜大学大学院総合学術研究科、2) 星城大学大学院健康支援学研究科
- I-7 『今、南海トラフ大地震を中国四国全体で考える』  
～南海トラフ大地震に対する第14旅団の取組み～  
岡本 佳樹（陸上自衛隊第14旅団司令部第3部防衛班長 1等陸尉）
- I-8 国際医療活動団体による災害医療支援  
横山 明子（認定特定非営利活動法人 AMDA）

◆座長：大脇 哲洋（鹿児島大学大学院 地域医療学分野 教授）

（災害医療）

- I-9 離島からの災害弱者避難に貨客船を使用した場合の問題点  
大桃 丈知（医療法人伯鳳会 白鬚橋病院 地域救急医療センター医療法人伯鳳会 赤穂中央病院 外科）
- I-10 災害時在日アメリカ軍基地内の医療施設に期待できる事を、女性目線から考える  
吉田 香里（医療法人伯鳳会 白鬚橋病院 地域救急医療センター医療法人伯鳳会 赤穂中央病院 外科）
- I-11 台風11号による豪雨で浸水被害をうけた特別養護老人ホームの避難受け入れを経験して  
幸田 朋也（那賀町国民健康保険日野谷診療所）
- I-12 被災地支援に対する東京都医師会の試み～東京 JMAT～  
大桃 丈知（東京都医師会 救急委員会）

## 一般口演 II

---

◆座長：鈴木 正之（自治医科大学 救急医学教室）

（救急・地域医療）

- II-13 北海道の道南圏における救急医療の確立を目指して  
浅井 康文（雄心会 函館新都市病院）
- II-14 10年間の救急医療を振り返る～徳島県南部の小病院での変遷～  
本田 壮一（美波町国民健康保険由岐病院 内科）
- II-15 徳島県秘境地における救急医療体制  
山本 陽子（三好市国民健康保険 西祖谷山村診療所）
- II-16 当院における離島救急入院患者の検討  
村上 晃司（愛媛県立中央病院 総合診療科）



◆座長：村上 晃司（愛媛県立中央病院 総合診療科 主任部長）

（救急・地域医療）

- II-17 広島県のへき地における医療機関までの近接性と救急搬送発生件数に関する評価  
井上 和男（帝京大学ちば総合医療センター地域医療学）
- II-18 へき地医療支援センターの取り組み～へき地の休日夜間診療所を支える仕組みづくり～  
原田 昌範（山口県立総合医療センターへき地医療支援センター）
- II-19 郡部での非医療従事者による AED 使用  
（Public Access Defibrillation；PAD）では社会復帰していない  
村田 信也（八戸市立市民病院 救命救急センター）
- II-20 簡便なゴミ敵除法  
兼古 稔（上富良野町立病院 外科）

◆座長：大村 健史（徳島県立中央病院 外科・救急科医長）

（救急・地域医療）

- II-21 救急隊遅延地域において質の高い口頭指導は院外心停止の予後を改善する  
松原 裕樹・稲葉 英夫（金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学（救急医学））  
竹井 豊（広島国際大学保健医療学部医療技術学科）
- II-22 救急隊遅延地域において心停止症例に対して潜在的に行われた非番職員の出動例の分析（時間因子からみた一次救命処置の質）  
松原 裕樹・稲葉 英夫（金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学（救急医学））
- II-23 救急隊遅延地域において心停止症例に対し潜在的に行われてきた非番職員の現場出動の背景（聞き取り調査）  
松原 裕樹・稲葉 英夫（金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学（救急医学））

